

# 新しい時代 新文化運動と哲学

## 現世人間の起源と未来

人間は元々本来、神であった。この故に人類は全て神の肢体、神様の子孫であったのを判る。人間の行くべき道は、本来の神に戻ることである。人間はどこへ行くべきか？それは元に戻ることであろう。本来の神に戻る事が人間の眞の行くべき道であるのだ。皆さんは総て本来、神だったのである。

皆さんは本来、動物の体をした人間ではなかったのだ。皆さんの体内に流れる血は神の血であり、神ご自身が六千年間を生きておられるのだ。皆さん各自が生きているのではない。

皆さんの身は即、神の身であり、神の生命を継承しており、神の分身になって今日の世界人類が存在しているのである。ある人は米国人に、あるいはドイツ人や日本人、そして韓国人というふうに生まれているが、根本をただせば神様自身が生きているのであって、心霊的に決して一人ひとりが独立した固体として生きているのではない。

世の中では君と僕とを判然と区別して生きているので各自が「私」だけの力で生きていると錯覚している。しかし、今日の人間は悪魔の霊の虜になっているので錯覚しているのである。

われわれは一つの身であり、我々は一つの血である。又、われわれは一つの神であるから、我々には「君」と「僕」はない。われわれは全て神の身体であり、遺伝子工学的に神様自身の肢体なのだから我々には本来「君」と「僕」という概念は全くないのだ。いま人類は自分自身が歩んできた足跡を遡って眞の自分の自我とは如何なる存在であるのか悟るべき時期であろう。そのためには心霊現象と血野原理に

含まれている秘密を分からないといけない。

### 心霊現象

#### 想念の波長と血の作用

今われわれは、精神と肉体は分離することのできない一つの存在であることを悟った。この事実は科学的であり、聖書にも正確に符合する真理であることを分かる。ところが大部分の宗教指導者は死後の天国・地獄の存在を主張し理論づけて説教している。

有史以来、多くの宗教が盛衰を繰り返しながらも、そのほとんどが霊内分離説を説いているが、その理由と原因はなんだろうか？その代表的な原因は心霊現象ではないだろうか？

心霊現象では死んだ人の霊が別次元に存在している如く感じられるからであろう。つまり、霊が肉体を離脱する現象や、死人の霊が現れるとか(幽霊出現)死人の声が聞こえたり、写真に写るとか、また、巫女や霊媒を介し死んだ人の振舞いをしたとか、否定することのできない心霊現象があるからであろう。

ここで、肉体を離れた靈魂など存在しないとえば、さきのような霊現象はどうして起こるのかと、反問するに違いない。

だが、人間の思念は血の作用であることがわかれば、その現象をより深く理解することができる。血の作用は心の作用であるということは何度も説明したので、ここで改めて反復しようとは思わな

い。だが、人間の血は独自に生じたのではなく祖先より遺伝されたということを忘れてはならない。われわれの血の中には数多くの祖先の血と霊がともに内在しているだけでなく、全然見知らぬ人の血の影響まで受けているのである。

思い考え(想念)は物質化するというたとおり、想念による物質が空間に満ち溢れているのである。その想念物質と波長が合った場合は、見知らぬ遠い国の人であっても逢着し同質の現象を起こすことがある。血は一種の電気性を帯びているので磁場現象を起こしている。笑う人に会えばともに笑い、悲しい人に会えば悲しい感じがするのはそのためである。

また、血の作用は鋭敏な電子装置に等しく、空間に流れる微細な想念の波長を説いているが、その理由と原因はなんだろうか？その代表的な原因は心霊現象ではないだろうか？

神がかりの巫女や霊媒もやはり、それに喩似した現象により自分の主体霊を離脱し、他の霊を受け入れて演ずることができるのである。このように霊の憑依能力を持っているのが巫女や霊媒であり、神経が鋭敏であるだけに雰囲気の変化にも敏感であるのが特徴である。霊媒はその感受性を生かし死人の霊物質と斯く逢着して、自身の中で活躍するよう仕掛けるのである。

巫女は死霊を呼び出すのに鈴を振りながら激しく踊りまわる。そうすることにより血の流れが躍動した死人の霊と逢着

し、死んだ人の声を出したり、死んだだけが知っている諸々の事柄を明かしたりする。このような現象は霊が別に存在して起きるのではなく、その原因はすべて血の作用によって起きているということを知らねばならない。これを霊肉分離の立場で解釈することは、観察者自身に起きる現象を無視し、観察対象だけに執着したから生じた仮説に過ぎない。

よく、墓地と薄暗いところで幽霊に出会ったときは、慌でずに大声で“さかむ”と怒鳴るなり、叱り飛ばして追い返せといわれる。これなどは主体霊が恐怖に襲われ弱化したとき、他の霊物質が感応してくる現象である(幽霊現象)。一緒にいた二人のうち一人は幽霊を見たが、他の一人には見えないということがある。これなどは二人の血の作用に霊物質の逢着いかによって起こる現象である。幽霊現象が起きるときは大声で怒鳴るとか、叱り飛ばして自身の血を喚起することで正気を取り戻すことができる。これも一つの知恵である。

#### 幽霊離脱の学説について

霊肉一体説に対し、幽霊離脱現象を力説しながら反対する人が多い。しかし、幽霊離脱現象もやはり血の作用から起こるものである。(なんども幽霊離脱をしたことのある著者の体験と知識をもとに説明する)

医学的には生体エネルギーの活動が停止したことを死と断定している。だが、世の中には珍しい体験の持ち主がいるものだ。一度死んだが生き返ったという話を

よくきく。医学的には心臓の脈拍が停止し、体温が冷えてしまえば死亡たと断定するが、実はその体内に微妙な生体エネルギーが残留していたがため、再び血が活動しはじめて蘇生することになるものだ。

このように死んでから生き返った人たちは死後の模様をよく記憶している。生々しい夢のような幻想だが、幽体離脱といわれる状態を体験したのである。

例えば、“全身が硬直してゆき意識が体から抜けて宙に浮いて見ると、寝ている姿が見下ろされた。それからある力に導かれて深い道をしばらく歩いてゆくうちに広い原っぱに出たが、そこには大きな瓦葺きの建物があった。その中をのぞいてみると多くの死人を審判している光景が見えた。机上には分厚い帳面が開いてあったが、自分の名前が消されていなかったのを見て安心し、直ぐに気を取り戻し家に帰ったら生き返った”という類の話である。

このような現象は生き返った人だけが体験しているわけではない。祈っている最中とか、深く眠っているうちに、あるいは自由意志によって起きることもある。いずれも共通した特徴は、離脱者の身体が硬直し重く硬くなりながら仮死状態に陥ることである。そして、自分の行き来は見る事ができることである。

離脱者の意識が肉体から抜け空中に浮いているときは渦巻きのようなめまゝいや、自分の意識が空中でひとまわり回転するのを感ずることもある。そして、夢よりも鮮明に体験するので、目覚めてから

## ‘입춘대길 건양다경’은 감로해인으로 부모 자손들이 천세 만세 영화를 누리는 것이다

격암유록 新 해설

### 제109회

## 聖運論 성운론

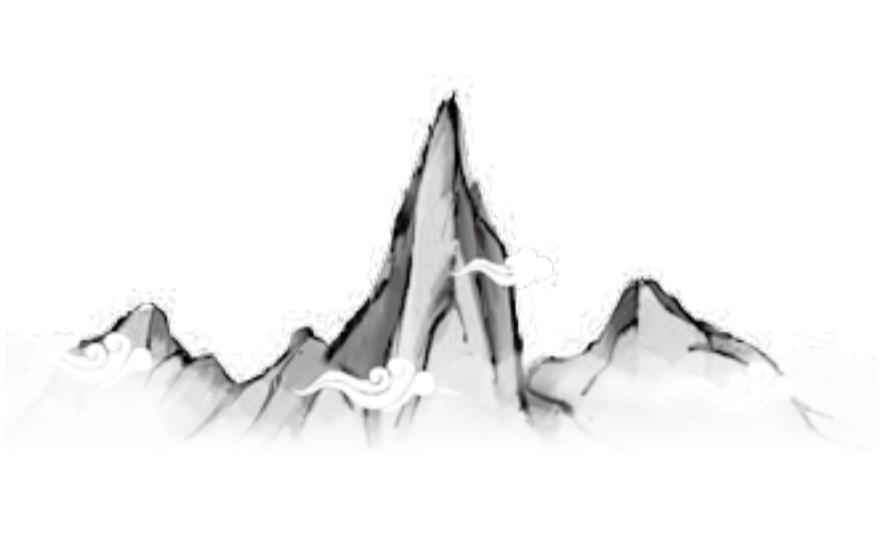
送舊迎新此時代 송구영신차시대
天下萬物忽變화 천하만물홀변화로
天增歲月人增壽 천중세월인증수요
春滿乾坤福滿家 춘만건곤복만가에
願得三山不老草 원득삼산불로초와
拜獻高堂鶴髮親 배헌고당학발친에
堂上父母千年壽 당상부모천년수요
膝下子孫萬歲榮 슬하자손만세영을
立春大吉傳 입춘대길전했으니
建陽多慶 건양다경모르리라
惡化爲善 악화위선되는 日일에
天受大命立春 천수대명립춘일세
老少男女上下階級 노소년녀상하계급
有無識 유무식을 莫論 막론하고
生命路 생명로에 喜消息 희소식을
不遠千里傳원천리傳전하을제
自一傳十 自일전십十傳百 십전백과
百傳千 백전천에 千傳萬 천전만을
天下人民 천하인민다傳전하면
永遠無窮榮光 영원무궁영광일세
肇乙矢口十方勝地 조을사구십방승지
擧手頭足天呼萬歲 가수두족천호만세

구원지가 가고 신천지를 맞이하는 이 시대는 천하 만물이 홀연히 변화하므로 하늘은 세월을 더하고 사람은 수명을 더 하며 천지에는 봄기운이 가득하고 집안에는 복이 가득함에 삼신산의 불로초(감로해인)를 얻어다가 대청마루에 게시 백발의 부모님께 절하며 올려 드리니 고당의

부모님은 천세를 살고 슬하의 자손들은 만세를 사는 영화를 누리는 것을 입춘대길이라고 전했으니 그것이 건양다경임은 모르리라. 악이 선으로 변하는 날에 하나 님으로부터 받은 대명이 입춘일세. 남녀 노소 상하계급 유무식을 막론하고 영원한 생명 길에 이르는 희소식을 불원천리 멀다 앓고 전할 때 한 사람이 열 사람에게, 열 사람이 백 사람에게, 백 사람이 천 사람에게, 천 사람은 만 사람에게 전하여 천하 만민에게 다 전하면 영원무궁토록 영광일 세. 조을사구 온 세계가 심승지가 됨이여! 손을 치켜들고 경중경중 뛰면서 하나님 만세를 부르리라.

## 末初歌 말초가

隆四七月李花落 응사칠월이화락에
白狗身 백구신이 蟬鳴時선명시오
尺山度地三角天 척산도지삼각천에
分州舍郡處處 분주합군처처로다
非僧非俗哀此物 비승비속애차물이
無君無父何處生 무군무부하처생고
燭始 燭대바지 短衫 단삼으로
似人非人 사인불인불수업네
頹敗倫常 퇴패윤상하고보니
舊學撤蔽新樹立 구학철폐신수림을
無面相語萬國語 무면상이만국어는
金絲千里人言來 금사천리인언래요



東北千里鐵馬行 동북천리철마행은
三層畫閣人坐坐 삼층화각인좌거라
空中行船風雲繞 공중행선풍운첩은
赤旗如雨白鶴飛 적기여우백학비라
三十六年無主民 삼십육년무주민이
皆爲僮僕不知佛 가이우승손부지불을

윤의 4년(경술년 1910년) 7월(음력)에 이씨 조진이 망하니 백구신(白狗身) 즉 경술년 매미가 우는 때요 산, 땅과 하늘을 측량하고 곳곳마다 고을을 나누고 군을 함치느니라. 중도 아니요 속인도 아닌 가 여운 이 백성들이 임금도 없이 아비도 없이 어느 곳에서 살아가랴? 촛대 바지 단삼을 걸친 사람 같잖은 왜놈을 차마 볼 수 없네. 삼강오륜과 오상이 가리키는 인륜이 무너지고 구학(한학)이 철폐되고 신학

느니라. 해가(일장기) 빛을 발하다가 저녁에는 저무는 이치이니라. 푸른 닭이 한번 우니 해가 떨어지느니라. 즉 유년(푸른 닭)에 일본이 패망하고 해방이 된다는 말이다. 반전락(半田落)은 일락(日落)으로 해가 떨어진다는 뜻. 왜인들이 낙망하여 자기 나라(根근)로 돌아가는 고로 조선은 남북으로 갈라져 서로 마주 보며 다리 위에서 이별이 서러워 우는 것이 마치 견우직녀가 오작교에서 이별하는 것과 같도다. 왜인들이 유유년 음력 칠월 칠일 즉 갑신월(申신=猴후) 을묘일(卯묘=兔토)에 일본으로 돌아가니 36년 일제 치하를 보내는 것은 하늘이 정한 일이라. 을사구국! 무궁화 삼천리 금수강산을 유지함이 천운 일세. 8.15 해방은 조선 민족 생일로서 전국 곳곳에서 하느님 만세를 부르리라.

兩人相對河橋立 양인상대하교읍에
牽牛織女相別 견우직여성별일세
女人戴禾髻兔鏡 여인대화후토귀로
六六運去乾坤定 육륙운거건곤정세
乙矢口 을사구나 權花莊 고권화강산
留支 류지함이 天運 천운일세
朝鮮民族生日 조선민족생일로서
天呼萬歲處處起 천호만세처처기세

해는 본래 동에서 솟아나와 서산에 지는 것이니라. 일본과 중국의 전쟁(해가 남중=午未=1931년 신미년 만주사변)이 세 계대전으로 확산되느니라. 해는 오키(午未)에 가장 밝고 신유(申酉)에 서산에 지

방명하 /고서연구가
myunghpark23@naver.com
010-3912-5953

## 당신을 영생의 세계로 안내하는 신문

성금계좌 : 우체국 103747-02-134421 예금주 : 이승우

### 승리신문은 독자님들의 정성어린 성금으로 만들어집니다 전국 각지에서 성금을 보내주시는 분께 감사드립니다

<b>승리신문</b>	1990.3.3 등록번호 다 – 0029
발행인 겸 편집인 김중만	
본지는 구세주(정도령, 미륵불)께서 말씀하신 사랑음이 실제로 죽지않는 원리(영생학)를 누구든지 쉽게 배우고 실천할 수 있도록 소개하여 질병과 죽음이 없는 개벽된 세상을 만들고 진정한 평화의 세계를 구현하는데 기여함을 목적으로 발행됩니다.	
경기도 부천시 소사구 안곡로 205번길 37 우 422-826	<b>광고 및 구독신청</b> 전화 032) 343-9985 FAX 032) 349-0202
홈페이지 www.victor.or.kr	
본지는 신문윤리강령 및 그 실천요강을 준수합니다.	